

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010030

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	医療機器整備事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	14 国保病院・老健施設		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	更新機器数			#N/A		
事業目標	17機器以上		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 透析装置5台、水処理装置 除細動器 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 CT撮影装置、心電図計 分包機、超音波診断装置 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 一般撮影用医用画像システム 低周波治療器 ナースコール装置更新 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 回診用X線診断装置 X線TV装置 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 リフト浴槽 他	
	事業費(千円)	196,410	40,650	53,744	48,016	43,200	10,800
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	9,450	2,625	2,625		4,200	
	道支出金	0					
	地方債	186,000	38,000	51,000	48,000	39,000	10,000
	その他	0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	71,966	27,416	44,550	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	6,945	2,625	4,320			
	道支出金	1,312	1,312				
	地方債	61,600	23,400	38,200			
その他	2,030		2,030				
一般財源	960	25	119	16		800	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ●人工透析装置購入 透析装置5台、水処理シス テム全自動溶解装置等一式 ●輸液ポンプ 2台	(実施内容等) 医療機器購入 CT撮影装置、心電図計、 分包機、腹部エコー、整形用 エコー	(実施内容等)	(実施内容等)	
	国保調整交付金 病院事業債 過疎債	【評価・実績】	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	8機器以上	4機器以上	2機器以上	2機器以上	1機器以上
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率		67%	83%	0%	0%
		全体達成率		14%	37%	37%	37%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	医療機器整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	齋藤 康志

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	安定した医療支援機器の整備	
【抱える課題やニーズは】	医療機器の老朽化等に伴う更新整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	患者のニーズに即した医療機器等の整備により、安定かつ適切な医療の提供を目指す	① 診療機器の整備	目標年度	平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安定かつ適切な医療体制が確保され、町民の健康増進が図られる		目標値	8機
			実績値	5機
			達成度	62.5%
		②	目標年度	平成26年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	医療機器の購入	入札等による購入		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	安全かつ安定かつ適切な診療体制を維持していくためには、医療機器の計画的な更新は必要不可欠である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	生命維持に係る機器等の整備により、患者に対する重要な医療支援体制が図られた
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	購入費等の精査並びに入札執行により、事業費の抑制が図られた
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町民全般に受益が及ぶものであり、公平性については支障ない
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
医療機器購入により、安全で安定かつ適切な医療サービスの支援を図ることができた		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町民が安心する医療サービス支援及び機器の経年劣化等に対応していくため、今後も年次計画等により適切な整備が必要である		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止